

標記運動ニ就キハ既報(五月十三日)、松原一四七火號)、一處其
一後ノ状況左記、通

一 荷揚人夫請負者ニ對スル陳情

記

日本大蒙其負漢沼稻次郎ハ人夫代表者等、伴ヒ十二日三箇食
庫荷揚請負人京橋區越前銀町前京極運輸株式會社ヲ訪ヒ、賓
金ハ云々セサル。元永年愈庫地帶ニ傷キ居ル。我々力食ニ困ル際
文那人勞傷者ヲ使用サル、ナラハ先ツ我々、使用サレ度シト
陳情シタルニ會社側ニテハ是ヲ諱トシ全會社直屬、人夫請負
人深川區松村町一谷藤吉(文那人三十名使用)ニ其旨傳達
スル旨、面答ヲ得テ退出シタリ。

然ルニ人夫請負業ハ引續キ文那人之夫ヲ使用シワ、アルヲ以
テ漢沼八十四年前十一時人夫百三名ヲ引率深川西平野警察署
署出頭シ、文那人勞傷者、取締方々ヲ懇請シテ歸去セリ。

二 人夫請負者勞傷者側ト折衝所轄深川西平野警察署ニ於

テ八月十五日午前八時多庫闇係人夫請負者別記二十名ヲ招
致し公審、實情調査中、十時三十分頃深沼駅難波屋(一ノ)兩
名ハ人夫代者八名ト共ニ会署出頭シタルヲ以テ全署員の幹
旋、結果兩者共余果テ希望シタルヲ以テ会署内ニテ會見セシ
ム。

諸質素者側ハ

某眾不況、休憩及人夫、更習ヲ説明シタル上

一 責任觀念ヲ持ワコト

一権利ヲ主張スル前ニ先ツ義務ヲ果スコト
ノ希望の眞面目ニ就考セハ内地人ヲ使用スル旨、言明セリ
之ニ對シ漢沼八自由勞傷者ニテ東京協働會ヲ組織シシル旨、
説明シタル上、午後、人足調、警官ハ極力矯正ニ努ムルヲ以
テ自由勞傷者、窮状、今情ヲ尋ヒテ度シト懇願シ